

県内に3つのスマートインターチェンジ整備!

～ 地域産業の活性化や救急医療支援等様々な効果が期待されます ～

道路建設課

県ではこれまで、市町村からスマートインターチェンジ(スマートIC)設置の要望(発意)があった箇所について、市町村や国、高速道路会社と連携し、設置に向けた検討を進めてきました。

このうち、検討の進んだ「奥州」「矢巾」「滝沢南」(いずれも仮称)の3箇所のスマートICについて、国土交通大臣に連結許可申請を行っていましたが、平成25年6月11日付けで連結許可となりました。

今後は、県内初となるスマートICの整備が計画通りに進むよう、関係機関と調整を図りながら整備を推進していきます。



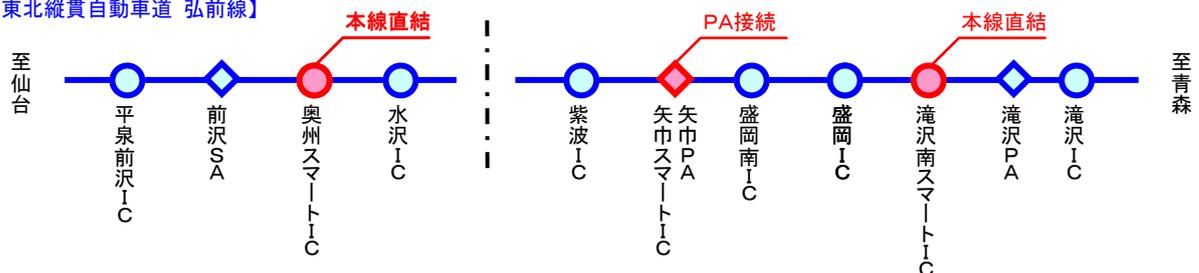
H25.6.13 連結許可書交付式で国土交通省東北地方整備局の川瀬道路部長(右)から連結許可書を受け取る蓮見道路都市担当技監(中央)と矢巾町の川村町長(左)

連結許可申請の概要

	奥州スマートIC	矢巾スマートIC	滝沢南スマートIC
1.高速自動車国道の路線名	東北縦貫自動車道 弘前線	東北縦貫自動車道 弘前線	東北縦貫自動車道 弘前線
2.連結位置	上り線 岩手県奥州市胆沢区小山	岩手県紫波郡矢巾町大字上矢次	岩手県岩手郡滝沢村字高屋敷平
	下り線 岩手県奥州市胆沢区小山	岩手県紫波郡矢巾町大字樺山	岩手県岩手郡滝沢村字高屋敷平
3.連結予定施設	上り線 市道 附野下笹森線	県道 不動盛岡線	村道 茨島土沢線
	下り線 県道 衣川水沢線	町道 堤川目線	村道 茨島土沢線
4.連結許可申請者	上り線 奥州市	岩手県	滝沢村
	下り線 岩手県	矢巾町	滝沢村
5.概算事業費	全体事業費 約36億円	全体事業費 約18億円	全体事業費 約35億円
6.運用時間	24時間	24時間	24時間
7.運用形態	一旦停止型フルインター形式	一旦停止型フルインター形式	一旦停止型フルインター形式
8.対応車種	E T C車載器を搭載した全車種	E T C車載器を搭載した12m以下の全車種	E T C車載器を搭載した全車種
9.工事の施行期間(予定)	連結許可の日から平成30年3月31日まで	連結許可の日から平成30年3月31日まで	連結許可の日から平成31年3月31日まで

既存IC等との位置関係

【東北縦貫自動車道 弘前線】



スマートICとは

スマートICは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリア等から乗り降りできるように設置し、通行をETCを搭載している車両に限定しているICです。利用車両が限定されているため、簡易な料金所の設置で済み、従来のICに比べて低コストで導入できます。また、既存の高速道路の有効活用や、地域生活の充実、地域経済の活性化が図られることから、全国的に設置に関する要望が高く、整備が進められています。

◎スマートICの概要については、国土交通省のHPで紹介されています。

http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/smart_ic/

県内3箇所のスマートICの整備効果

今回連結許可となった3箇所の整備により、次のような整備効果が期待されます。

奥州スマートIC	矢巾スマートIC	滝沢南スマートIC
① 基幹産業（農業）の振興 ② 救急医療の支援 ③ 居住者の利便性向上 ④ 製造業の支援 ⑤ 観光・イベント誘客	① 居住者・来訪者の利便性向上 ② 物流の効率化による地域産業の活性化 ③ 救急医療機関へのアクセス性向上	① 居住者・就業者の利便性向上 ② 交通分散による渋滞緩和 ③ 地域経済活動の基盤整備 ④ 搬送時間短縮による地域の救急医療支援

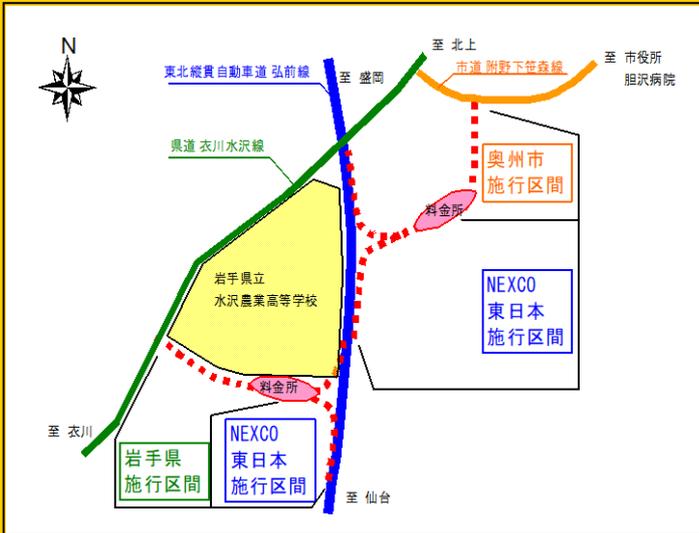
スマートIC整備の事業区分

スマートIC整備の事業区分は、原則として次のとおりとなっています。

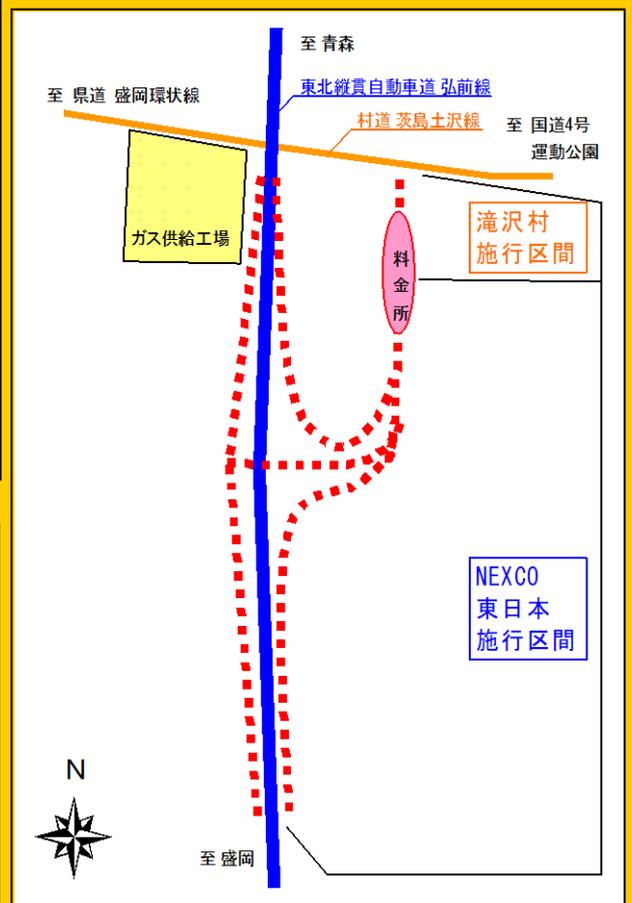
- ① 高速道路本線～料金所・・・高速道路会社
- ② 料金所～連結道路・・・・・・連結道路の管理者

県では、今回連結許可となった3箇所のうち、連結する道路が県道である奥州スマートICの下り線及び矢巾スマートICの上り線の料金所～連結道路の区間について整備を行います。

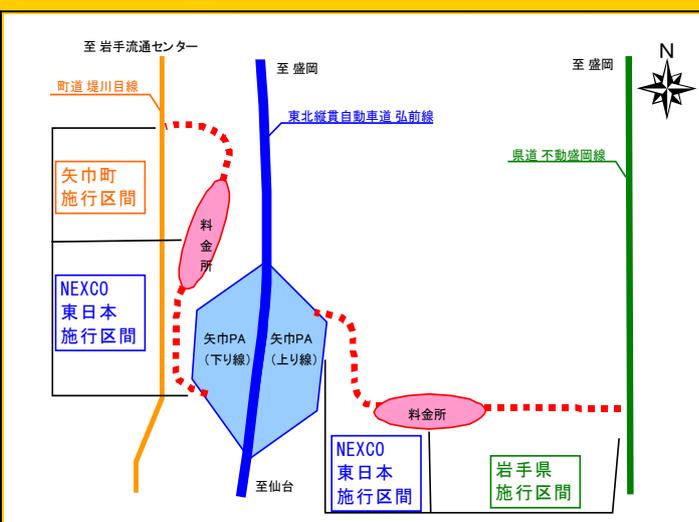
【奥州スマートIC】



【滝沢南スマートIC】



【矢巾スマートIC】



◎スマートICの連結許可についての情報は、国土交通省のHPで御覧いただけます。

【道路局】 http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000360.html

【東北地方整備局】 http://www.thr.mlit.go.jp/bumon/kisya/kisyah/images/46148_1.pdf